

釜石市観光振興ビジョン実施計画

アクションプラン

平成 29 年度～32 年度



釜石市

I 序論

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、釜石市は甚大な被害を受けました。多くの観光施設が津波により大きな打撃を受け、休業を余儀なくされるとともに、豊かな自然環境を魅力としていた観光地の流失により、釜石市は観光の魅力が著しく低下しました。各地からのボランティア、復興事業に従事される方々の支援をいただき、釜石市は不撓不屈の精神で復興を進めています。そして、平成 23 年 12 月に策定した、今後のまちづくりの基本的な方向性を示す総合計画に準ずる役割をもつ「釜石市復興まちづくり基本計画（スクラムかまいし復興プラン）」の中で示した基本目標に沿って、既に様々な観光に関する施策をスタートさせています。

平成 27 年 3 月には、釜石市が平成 31 年の 9 月から 10 月に開催されるラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会の試合会場に決定。多くの観戦客が世界中から釜石市を訪れることが予想され、釜石市内各所では、様々なインフラの整備が進んでいます。また、平成 27 年 7 月に橋野鉄鉱山がユネスコ世界遺産に登録されると、釜石市への注目が世界から集まり、釜石市の観光振興を取り巻く環境は大きく変化しました。

日本は他国に例のない少子高齢化を迎え、急激な人口減少が進行しています。釜石市は、平成 28 年 3 月に「釜石の実像（釜石市人口ビジョン）」と「釜石市オープンシティ戦略（釜石市総合戦略）」の最終版を公表しました。「釜石の実像（釜石市人口ビジョン）」では、平成 26 年現在で 36,078 人の人口が、平成 52 年には 21,503 人まで減少すると予測しています。それを受けて策定された、「釜石市オープンシティ戦略（釜石市総合戦略）」では、「オープンシティ釜石」を掲げ、「市民一人ひとりが役割を持つ、もっとも開かれたまち」の実現を基本思想としています。多様な人材が還流し、地域の課題と可能性が自分事化され、新たな事業機会や市民活動が生み出されることによって、希望が連鎖していく、という循環を確立することを戦略の柱としました。キーワードは「つながりが社会の問題を解決する」です。

さらに岩手県では「岩手県東日本大震災津波復興計画復興実施計画(第 3 期)」の策定を進めています。観光を復興の手段とし「復興活動を契機とした交流人口の拡大や、豊かで多彩な自然環境、地形・地質、岩手の風土に根差した歴史の中で育まれた文化遺産や伝統芸能等を生かした地域ツーリズム等の展開を通じて、新たな岩手ファンや観光客等との交流により、三陸地域における一層の観光振興、定住・交流の促進を図る」を目的とした新たな交流による観光地域づくりプロジェクト「三陸創造プロジェクト」を掲げています。また、三陸沿岸地域が一体となった観光推進体制が必要と判断し、公益財団法人さんりく基金（盛岡市）の観光地域づくりを担う部署として、平成 28 年に岩手県内で初めての観光地域づくり推進法人「三陸DMOセンター」が開設されました。釜石市も岩手県を形成する自治体の一つとして、計画実現に向けて歩んでいます。

こうした経緯で釜石市観光振興ビジョンの策定が決定し、平成 28 年より具体的な策定作業がスタート。釜石市観光振興ビジョン策定のために設置したエリア部会、策定委員会等で得た、市民、関係団体等の意見を反映し、策定しました。

目 次

I	序論	1
II	総論	3
III	実施計画	5
IV	K P I の推移と目標	11
V	地区計画	13
VI	資料編	14

ロードマップ	テーマ	「観光まちづくり」 市民が釜石を考える期間				観光による産業育成 市民が釜石を磨き上げる期間	
	計画期間	平成29年度～平成32年度				平成33年度～平成38年度	
	目標設定	●市民が地域の宝を知り、釜石市に誇りを取り戻す ●持続可能な地域づくりと観光の役割を考える				●地域の交流を活性化させ、 生まれた産業を育てる	
	プロセス	STEP 1 導入期		STEP 2 成長期		STEP 3 発展期	
	トピックス	●崎住居メモリアルパーク まちびらき供用開始	●宮古・産業フェリー 航路開設	●ラグビーW杯 ●三陸沿岸道路 ●釜石花巻道路開通	●東京五輪		
戦略目標	行動指針	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～平成38年度	
釜石市民同士の 域内交流拡大	Meetup Kamaishiの運営	年間1～2回開催の観光イベント 「鉄人が案内する観光体験プログラム」		年間4回開催～12回開催。 定期開催の観光イベントとしての活動		日常的にいつでも誰でも利用できる 観光体験システム化	
	担い手の育成	観光関連セミナー実施		エリアリーダーの育成研修		専門ガイドの育成研修	
	流域エリアにおけるイベント開催	流域エリア毎 観光イベント開催				STEP 1～2での活動の拡充	
	市内の回遊促進			エリア間回遊コース設定			
	学校教育プログラムの支援	コミュニティスクール推進事業「鉄づくりの学習」					
	市民・民間企業による情報発信	観光関連ホームページ新規開設		観光関連ホームページ維持・更新			
	住民の誇りの醸成	観光振興にかかわる住民満足度向上/市民アンケート調査実施					
釜石市内での宿泊を伴う滞在交流型観光の創出	観光目的の宿泊増	宿泊を伴う観光コンテンツ開発				STEP 1～2での活動の拡充	
	民泊利用数の拡大	グリーンツーリズム・漁業体験プログラム設定		Airbnb経由集客数拡大・民泊受入箇所数拡大			
	教育旅行誘致数増	教育プログラム開発		旅行代理店営業			教育旅行団体誘致数
	スポーツ団体誘致	スポーツ大会誘致数 スポーツ合宿誘致数					
	広域連携による集客	いわて花巻空港チャーター便に対応した 訪日外国人観光客誘致		釜石秋田線沿線日増体 周遊コース設定 三陸沿岸自動車道・三陸鉄道 周遊コース設定			
	顧客満足度の向上	域外滞在者のアンケート收受と顧客満足度の向上					
ラグビーワールドカップ2019 [®] 開催後の国際交流多様性の受入れを促進	訪日外国人観光客数増			WiFiスポットの設置/多言語化サイン設置/外国語ガイド育成 /Airbnb経由訪日外国人集客数		STEP 1～2での活動の拡充	
	国際スポーツ大会の誘致			国際スポーツ大会誘致 販促資料の整備			
マーケティングと地域DMO設立	DMO設立準備	関連団体打ち合わせ		マーケティング専門人材の登用		継続的なマーケティングデータの収集管理 (DMO取得必須重要指標) ・延べ宿泊者数・旅行消費額・来訪者満足度 ・リピーター率	
	マーケティング・マネジメント活動	三陸DMOとの連携		マーケティングデータの収集管理			

戦略目標	行動指針	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～平成38年度
中心市街地の活性化	FP1の活性化	文化芸術イベント開催				FP1商店街の売上高の拡大
	FP3の活性化	漁業振興イベント開催				観光船復活への働きかけ
世界遺産と鉄づくりの産業遺産観光の促進	横野鉄鉱山の訪問者数拡大	来場者アンケートによる満足度向上 コミュニティスクール推進事業支援	アクセス向上施策 (シャトルバス、定期タクシーの設定) 飲食・土産品販売提供	世界遺産とつなぐ(平泉等)相互送客促進の情報発信数(インターネット広報等)		横野鉄鉱山来場者数の拡大
ラグビーワールドカップ2019 [®] を活用した地域再生	崎住居駅周辺、根浜地区の活性化	崎住居駅前震災メモリアル施設による防災教育展示・プログラムの実施		釜石崎住居復興スタジアム(仮称)を活用した大型屋外音楽イベントの開催誘致		STEP 1～2での活動の拡充
		漁業体験プログラム設定				
		千量敷を日玉とした海からの景観スポット整備と来客数 根浜地区オートキャンプ場施設の新設と常設利用				
釜石オープン・フィールド・ミュージアム整備	市民向け対応の為の環境整備	玄関口機能の整備・地域拠点の整備 展示空間の整備：整備計画(マスタープラン)の検討・作成		関連サービス施設の整備：既存施設の育成、新規施設の誘致		・全国のフィールドミュージアムとの連携 ・STEP 1～2での活動の拡充
		・学術研究施設の開放・展示空間化：暫定開放・試験的開放に向けての働きかけ				
		・関連サービス施設の整備：施設整備計画・誘導方策の検討・作成既存施設の掘り起こし				
	来訪者向け対応の為の環境整備	・観光ガイドの育成：観光ガイド育成講座の開設、既存観光ガイド組織との連携		・観光ガイドの育成：人材のネットワーク化、外部支援者・会員の募集、育成		・観光ガイドの育成：他団体との交流、広域来訪者の誘致
		・駐車場の整備：整備計画(マスタープラン)の検討・作成		・景観保全方策：現況把握、景観保全方策の検討		
		・公共交通機関(バス)の充実：周遊バスルートの設定		・公共交通機関(バス)の充実：新規バスルートの具体化		
・情報センター機能の強化：マップ、ガイドブック、パンフレットの充実、インフォメーションブースの設置		・情報センター機能の強化：インフォメーション拠点の設置		・情報センター機能の強化：拠点施設の充実 ・広域的な来訪者の誘致 ・その他、STEP 1～2での活動の拡充		
・サイン・インフォメーション計画：計画の作成		・サイン・インフォメーション計画：整備の具体化(兼用)				
・イベントの開催、PR活動：イベントの企画・開催、PR活動		・イベントの開催、PR活動：観光PR、観光客誘致、観光産業の強化、育成				

II 総論

1 釜石市観光振興ビジョン・アクションプランとは

釜石市は、平成 29 年 4 月に釜石市観光振興ビジョン「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」本編を策定しています。

釜石市観光振興ビジョン・アクションプランは、観光振興ビジョンに基づいて計画期間中に実施すべき事業とスケジュールを定めるもので、ビジョンの主目的である「観光を通じた震災復興の実現」に向け、市の方針を内外に示すとともに、計画の進捗状況を明確にしようとするものです。

2 アクションプランの性格

釜石市復興まちづくり基本計画実施計画と整合を図り、釜石市オープンシティ戦略を踏まえて策定することにより財政的裏付けを行うことから、計上事業は予算編成の重点事業となります。

3 戦略目標

アクションプランの施策立案にあたっては、以下の戦略目標の達成を目指します。

1. 滞在交流型観光の創出

基盤整備及び集客事業のほか、民泊や団体旅行の誘致を促進することにより、宿泊を伴う滞在型観光客を増大させます。

2. 国際交流と多様性の受入

ラグビーワールドカップ 2019™（以下「RWC 2019™」）開催を契機に、外国人等も過ごしやすい観光地になります。

3. マーケティングと地域DMO設立

各種データを収集分析して効果的な施策を展開するとともにプロモーション活動を担うDMO法人を立ち上げます。

4. 地域内交流の拡大

市民が釜石の魅力と観光資源を再認識し、釜石を訪れた観光客に案内できる観光地域づくりを推進します。

4 重点プロジェクト

観光振興ビジョンによる観光地域づくりを牽引し、戦略目標を実現するために特に重要な事業を、重点プロジェクトに位置付けます。

1. 中心市街地の活性化

フロントプロジェクト1～商業とにぎわいの拠点づくり

フロントプロジェクト3～魚河岸地区のにぎわいづくり

中心市街地との回遊性向上

2. 世界遺産と産業遺産観光

学びの象徴拠点としての理解促進（橋野鉄鉱山、鶴住居川流域）

橋野鉄鉱山へのアクセスとホスピタリティ向上

3. RWC2019™を活用した地域再生

スポーツツーリズムの推進と国際大会の誘致

5 その他主要事業

従前の観光施策に、より魅力的に見直しを加え、観光振興ビジョン本編のキーワードを次の4段階に整理しながら事業を立案します。

1. 「誘う（いざなう）」

当市を訪れるお客様、特に滞在型観光客の増大に向けて、魅力的なプランを造成し、あわせてプロモーションを強化します。

2. 「迎える」

お客様を迎え、市内を周遊してもらうための重要な基盤施設や二次交通を整備し、ホストとなる市民の気付きをあわせて促します。

3. 「遇（もてなす）」

外国人をはじめ多様なお客様の受け入れ態勢を整え、楽しめる催事を企画し、あわせて釜石の味と土産及び接遇を充実します。

4. 「進める」

観光地域づくりを支える人材を育成し、データの的確な分析と企画、広域的な連携により観光振興ビジョンを強力に推進します。

6 計画期間

観光振興ビジョン本編の計画期間と同様の平成29年4月から平成38年3月までの10か年間とします。但し、平成32年度までの4か年間を前期計画、平成33年度以降を後期計画として、後期計画期間の始期までにアクションプランを見直すこととします。

7 効果測定指標

アクションプラン（前期計画）に掲載する事業は、次の指標で効果を測定します。

1. 市民意識指標

釜石市民としての誇りを持つ市民の割合（抽出調査・単位：％）

人を温かく迎える意識を持つ市民の割合（抽出調査・単位：％）

2. 経済指標

市内への宿泊者数（月平均・単位：人）

OFM※体験プログラム数（総数・単位：件）

OFM※体験プログラム参加者数（総数・単位：人）

教育旅行・企業研修誘致数（総数・単位：件）

※OFM：オープン・フィールド・ミュージアム

8 推進体制

産業振興部商業観光課を事務局として、復興推進本部をはじめとする庁内各部局と連携して全庁的な推進体制を構築し、更に市内関係機関と連携協調・役割分担をして推進します。











9 進捗管理

釜石市復興まちづくり基本計画実施計画と連動させて進捗管理を行います。

Ⅲ 実施計画

1 期間別行動計画

		No.	事業名	H29	H30	H31	H32	以降		
重点プロジェクト	(1)中心市街地の活性化 (H/S)	1	海と緑の交流拠点整備事業 (H)	→						
		2	東部地区商店街環境整備事業 (H)	→						
		3	まちなかにぎわい創出事業(S)	→						
	(2)世界遺産と産業遺産観光 (H/S)	1	橋野鉄鉱山周辺環境整備事業 (H)			→				
		2	鉄の歴史館改修事業 (H)		→					
		3	世界遺産シャトルバス運行事業(S)	→						
		4	鶴住居駅周辺にぎわい創出事業(S)			→				
	(3)RWC 2019™を活用した地域再生 (H/S)	1	鶴住居復興スタジアムメンテナンス&プロモーション事業(H/S)			→				
		2	RWC 2019™ファンゾーン事業(S)	→						
		3	スポーツツーリズム導入事業(S)		→					
		4	おもてなし国際化事業(S)		→					
	その他主要事業	(1)誘う (いざなう) (S)	1	観光物産プロモーション強化事業(S)		→				
2			団体旅行誘致奨励事業(S)		→					
3			交通ネットワーク活用観光振興事業(S)		→					
4			三陸ジオパーク推進事業(S)		→					
(2)迎える (H)		1	潮風トレイル・新奥の細道観光振興事業(H)		→					
		2	(仮称)根浜海岸線道路整備工事(H)		→					
		3	根浜地区観光施設整備事業(H)	→						
		4	鶴住居観光交流施設整備事業(H)	→						
		5	五葉山石楠花荘改修事業(H)	→						
		6	釜石物産センター改修事業(H)		→					
		7	シープラザ遊跡地整備事業(H)		→					
		8	郷土資料館整備事業(H)	→						
		9	観光施設トイレ整備事業(H)		→					
		10	道の駅釜石仙人峠改修事業(H)		→					
		11	民泊推進モデル事業(H)		→					
(3)遇 (もてなす) (S)		1	三陸防災復興博(仮称)推進事業(S)	→						
		2	釜石湾観光船運航モデル事業(S)		→					
		3	根浜サマーフェスティバル(S)			→				
		4	釜石港入港歓迎イベント開催事業(S)		→					

		5	三陸鉄道開通記念事業(S)					
		6	四季彩イベント開催事業(S)					
		7	釜石ブランド強化充実事業(S)					
		8	甲子柿トップブランド化推進事業(S)					
		9	バイクシェア配置モデル事業(S)					
	(4)進める (S)	1	DMO法人設立事業(S)					
		2	オープン・フィールド・ミュージアム推進事業(S)					
		3	サスティナブルツーリズム推進経費(S)					
		4	地域づくり人材育成推進事業(S)					
		5	三陸広域連携観光推進事業(S)					
		6	釜石線沿線等活性化推進事業(S)					

2 重点プロジェクト

観光振興ビジョンによる観光地域づくりを牽引する特に重要な事業として次の3つを定め、これを推進することで観光を通じた震災復興の実現を加速させます。

(1) 中心市街地の活性化 (H/S)

No.	事業名	主体	摘要
1	海と緑の交流拠点整備事業 (H) 【新規】	釜石市	海と魚のにぎわい拠点を目指すF P 3エリアに観光の核となりにぎわいと水産振興に資する施設を整備。
2	東部地区商店街環境整備事業 (H) 【新規】	各商店会・ 釜石市	東部地区商店街の組織強化とともに、街路灯、サイン、wi-fi、キャラクターストリート等の魅力向上事業を展開。
3	まちなかにぎわい創出事業(S) 【新規】	まち会社※1 他	情報交流センター及び市民ホール TETTOにおいて芸術文化の振興とにぎわい創出に資する自主事業を展開。

(2) 世界遺産と産業遺産観光 (H/S)

No.	事業名	主体	摘要
1	橋野鉄鉱山周辺環境整備事業 (H) 【新規】	釜石市	明治日本の産業革命遺産のビジターセンターとしての展示改修等を実施。あわせて橋野鉄鉱山周辺の環境を整備。
2	鉄の歴史館改修事業 (H)	釜石市	鉄の歴史館の一層の増加が予想される観光客の受入態勢を整えるため施設の必要な改修を実施。
3	世界遺産シャトルバス運行事業(S)	観光協会 ※2	橋野鉄鉱山等を巡るシャトルバスを運行し、観光客の利便を向上。
4	鵜住居駅周辺にぎわい創出事業(S) 【新規】	うみやま協議会※3	鵜住居観光交流拠点施設を中心とする同駅周辺において既存の観光イベントを分担開催するほか地域イベントを支援。

(3) RWC 2019TMを活用した地域再生 (H/S)

No.	事業名	主体	摘要
1	鵜住居復興スタジアムメンテナンス & プロモーション事業(H/S) 【新規】	釜石市	標題施設を適正に維持管理するとともに経費削減と地域振興に向けて施設の活用による各種イベント等を展開。
2	RWC 2019 TM ファンゾーン事業(S)	釜石市	RWC 2019 TM にあわせて市街地でファンゾーン事業を実施するとともに、リハーサルイベントを実施。

3	スポーツツーリズム導入事業(S) 【新規】	実行委員会 ※4	既存のスポーツイベントの他ラグビーを中心としたスポーツ体験をメニュー化し当市の特色として交流人口創出を推進。
4	おもてなし国際化事業(S) 【新規】	釜石市商店会等	商業観光施設においてインバウンド対応を進めるとともに、各種案内や免税店の設置、市内2次交通対策などを推進。

3 その他主要事業

観光振興ビジョンを推進し、観光地域づくりと観光を通じた震災復興を実現するための主要な事業を、お客様の誘致、基盤整備、イベント等ソフト事業及び推進体制の4つに整理して以下に掲げます。

(1) 誘う (いざなう) (S)

No.	事業名	主体	摘要
1	観光物産プロモーション強化事業(S) 【新規】	DMO ※5 他	SNS等を考慮して各種宣伝媒体を刷新。空港、SA及び旅行代理店との連携、恋人の聖地等を活用した観光プロモーション強化
2	団体旅行誘致事業(S)	DMO ※5	当市への宿泊を含むプラン作成や防災教育を活用した教育旅行や観光客を誘致するため代理店への奨励措置等を見直し実施。
3	交通ネットワーク活用観光振興事業(S) 【新規】	DMO ※5	三陸鉄道及び東北横断道の全通、近隣都市へのフェリー就航、SL銀河の運行を活用して旅行商品等を企画。
4	三陸ジオパーク推進事業(S) 【新規】	岩手県 釜石市	姉妹都市との連携等も活かして地域認定を維持し岩手県及び沿岸自治体と協調して周知啓発を強化。

(2) 迎える (H)

No.	事業名	主体	摘要
1	潮風トレイル及び新奥の細道観光振興事業(H) 【新規】	釜石市 DMO	主要な遊歩道である箱崎半島ルート及び尾崎半島ルートを適正に維持管理。あわせて案内ガイド等を養成しPRを強化。
2	(仮称)根浜海岸線道路整備工事(H) 【新規】	釜石市	根浜地区に至る鶴住居2号線の災害復旧事業及び根浜地区観光施設エリア内の市道を社総交事業等により整備。
3	根浜地区観光施設整備事業(H) 【新規】	釜石市	多目的広場を備えた根浜海岸キャンプ場及びレストハウス等を災害復旧事業等により整備。

4	鵜住居観光交流施設整備事業(H) 【新規】	釜石市	鵜住居駅前を鵜住居川流域観光の玄関口と位置付け観光物産及び情報発信の拠点となる観光交流施設を整備。
5	五葉山石楠花荘改修事業(H) 【新規】	自然保護協議会※6	老朽化が進む県立自然公園五葉山エリア内の石楠花荘を2市1町の協議会事業として整備。
6	釜石物産センター改修事業(H)	釜石市	経年劣化が進む釜石物産センターを釜石の玄関口にふさわしい施設として必要な改修を実施。
7	シープラザ遊跡地整備事業(H) 【新規】	釜石市	老朽化により危険性が増しているシープラザ遊テントを解体し跡地に大型車に対応可能な駐車場を整備。
8	郷土資料館改修整備事業(H)	釜石市	来訪者の利便性確保と受入態勢を充実し文化財の適切な保存活用と快適な展示空間を創出するため改修工事を実施。
9	観光施設トイレ整備事業(H)	釜石市	市内の大平地区さわやかトイレ及び尾崎半島地区の観光トイレ等の機能維持に向けた改修工事を実施。
10	道の駅釜石仙人峠改修事業(H) 【新規】	釜石市	観光客受入態勢を強化するため屋外テラスに屋根を設置、排水設備を整備するほか横断道全通を見据えてPR及び機能を強化。
11	民泊推進モデル事業(H) 【新規】	釜石市	農漁業体験を含む民泊事業の受入態勢を強化するためコミュニティホスト事業等をモデル的に実施し横展開を図る。

(3) 遇 (もてなす) (S)

No.	事業名	主体	摘要
1	三陸防災復興博(仮称)推進事業 【新規】	岩手県・準備委員会※7	2019年上期に計画されている標題の博覧会の成功に向け県並びに沿岸市町村と連携して計画を策定し、官民一体となって実施。
2	釜石湾観光船運航モデル事業(S) 【新規】	釜石市	将来的な観光船の通年運航を視野に民間船舶の借上によるモデル予約運航のほかサブ船クルーズ等の試験運航を実施。
3	根浜サマーフェスティバル(S) 【新規】	釜石市	震災により途絶えていた根浜海岸海水浴場の海開きを復活し地域との連携による新規イベントを実施。
4	釜石港入港歓迎イベント開催事業(S)	釜石港湾振興協議会	釜石港に入港する大型船舶のほか、不定期に入港する客船の歓迎イベントを開催。

5	三陸鉄道開通記念事業(S)【新規】	釜石市・三陸鉄道(株)	J R山田線の復旧及び三陸鉄道への移管による全線開通の歓迎イベントのほか三陸鉄道と連携した企画観光を展開。
6	四季彩イベント開催事業(S)	観光協会※2 釜石市	釜石よいさ、納涼花火、釜石まつり、まるごと味覚フェスティバル等の代表的なイベントに見直しを加えつつ強化充実。
7	釜石ブランド強化充実事業(S)	協議会 実行会議 ※8 ※9	RWC2019 TM 及び世界遺産等を活用した特産品開発支援。東北リーダーズカンファレンスなど大規模催事によるPRを展開。
8	甲子柿トップブランド化推進事業(S)	協議会 ※10 釜石市	特産品甲子柿のブランド化、生産及び販路の拡大、並びに交流人口の拡大を強力に推進。
9	バイクシェア配置モデル事業(S)【新規】	民間	民間事業者と協調して市内施設への貸自転車のステーション整備及びシステム構築等を試行。

(4) 進める (S)

No.	事業名	主体	摘要
1	DMO法人設立事業(S)【新規】	DMO ※5	行政と連携して戦略的に着地型観光振興等に取り組み市民と地域の力を引き出す法人を設立。あわせて広域連携を推進。
2	オープン・フィールド・ミュージアム推進事業(S)【新規】	実行委員会 ※4	旧A&Fグリーン・ツーリズムの取組を強化しMeetup Kamaishiの取組を継続的に推進。メリハリをつけたメニューを開発。
3	サステイナブルツーリズム推進経費(S)【新規】	DMO ※5	サステイナブルツーリズム国際認証について理解を深め当市の特色の一つとして導入に向けた取組を推進。
4	地域づくり人材育成事業(S)【新規】	釜石市 他	郷土愛をもって観光振興につながる地域づくりに取り組むリーダー人材を育成。活動を通じてつながり人口の拡大を推進。
5	三陸広域連携観光推進事業(S)	釜石市 他	岩手三陸連携会議、三陸防災復興博、定住自立圏構想の推進にあわせて縦軸連携による広域観光を推進。
6	釜石線沿線等活性化推進事業(S)	活性化委員会 ※11 他	J R釜石線及び全通する東北横断自動車道釜石秋田線を活用した観光商品の企画及び沿線都市・観光地域との連携事業を推進。

※1 釜石まちづくり株式会社、※2 一般社団法人釜石観光物産協会、※3 釜石うみやま連携交流推進協議会、※4 釜石オープン・フィールド・ミュージアム実行委員会、※5 地域DMO (Destination Management Organization) 地域と協同して観光地域づくりを行う法人、※6 五葉山自然保護協議会、※7 三陸防災復興博(仮称)準備委員会、※8 釜石食ブランド開発検討協議会、※9 東の食の実行会議、※10 釜石市甲子地区活性化協議会、※11 釜石線沿線活性化委員会

IV KPIの推移と目標

1 市民意識指標

(1) 釜石市民としての誇りを持つ市民の割合 (抽出調査・単位：%)

区分	29年度	30年度	31年度	32年度
目標				75%
実績	%	%	%	%

(2) 人を温かく迎える意識を持つ市民の割合 (抽出調査・単位：%)

区分	29年度	30年度	31年度	32年度
目標				75%
実績	%	%	%	%

2 経済指標

(1) 市内への宿泊者数 (民泊を含まない) (月平均・単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標					355,000
実績	236,896				(1.50)

(2) オープン・フィールド・ミュージアム/Meetup Kamaishi 体験プログラム実施件数 (総数・単位：件)

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標					42
実績	28				(1.50)

(3) オープン・フィールド・ミュージアム/Meetup Kamaishi 体験プログラム参加者数 (総数・単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標					960
実績	640				(1.50)

※オープン・フィールド・ミュージアム体験に民泊を含む

(4) 教育旅行・企業研修誘致数 (総数・単位：件)

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標					24
実績	16				(1.50)

※観光客全体入込数 (1)(3)含む (総数・単位：人)

区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標					848,500
実績	565,638				(1.50)

K P I とは、Key Performance Ind I . Cator の略称で組織や事業、業務の目標の達成度合いを測る定量的な指標（業績評価指標）のことを指します。

前節においてロードマップの期間を前期 4 年と、後期 6 年と区分しました。それぞれの区切りとなる 4 年目（平成 32 年度）、10 年目（平成 38 年度）に向けて K P I を設け、ロードマップに対して適正に進捗しているかを定量的な指標を基に判断します。

現時点で正確な現状数値を把握しているものが少ないため、初年度は現状把握のための調査を実施した後に業績評価指数数値を策定します。平成 30 年度以降については初年度の策定数値を基に国や岩手県の業績評価指数の伸び率を参考に具体的な数値へと落とし込みを行い、業績評価指標とします。

テーマ	具体的な取り組み	業績評価指標（K P I）	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	以降
観光地域づくり	住民の誇りの醸成	誇りを持つ市民の割合（人数）	策定				
		人を呼び込もうとする市民の割合（人数）	策定				
	観光目的の宿泊増	ホテル・旅館・民泊 延べ宿泊者数（人泊）	策定				
	滞在交流型観光の促進	体験プログラム数 （グリーン・ツーリズム）	策定				
		体験プログラム参加者数	策定				
	次世代への継承	教育旅行誘致数（学校数）	策定				
		企業研修数（企業数）	策定				
	観光による産業育成	地産地消の促進	地元調達率（地場産品利用率）			調査	策定
収益性の確保		客単価（地域消費額）			調査	調査	策定
持続可能都市の形成		正規雇用割合（人数）			調査	調査	策定
		給与水準向上 （業種別 年収対前年比率）				調査	策定

V 地区計画

観光振興ビジョン本編に掲げたエリア設定に基づき、アクションプランの主要事業を再掲します。

(1) 甲子川流域エリア

豊かな自然の恵みと「製鐵所」に育まれた生活文化、歴史を体験するエリア

No.	事業名
1	海と緑の交流拠点整備事業 (H)
2	東部地区商店街環境整備事業 (H)
3	道の駅釜石仙人峠改修事業 (H)
4	まちなかにぎわい創出事業 (S)
5	オープン・フィールド・ミュージアム推進事業 (S)

(2) 鵜住居川流域エリア

山間部と沿岸部が融合し、鉄と海の文化で釜石市と世界をつなぐエリア

No.	事業名
1	(仮称)根浜海岸線道路整備工事 (H)
2	根浜地区観光施設整備事業 (H)
3	鵜住居観光交流施設整備事業 (H)
4	鵜住居駅周辺にぎわい創出事業 (S)
5	根浜サマーフェスティバル (S)
6	オープン・フィールド・ミュージアム推進事業 (S)

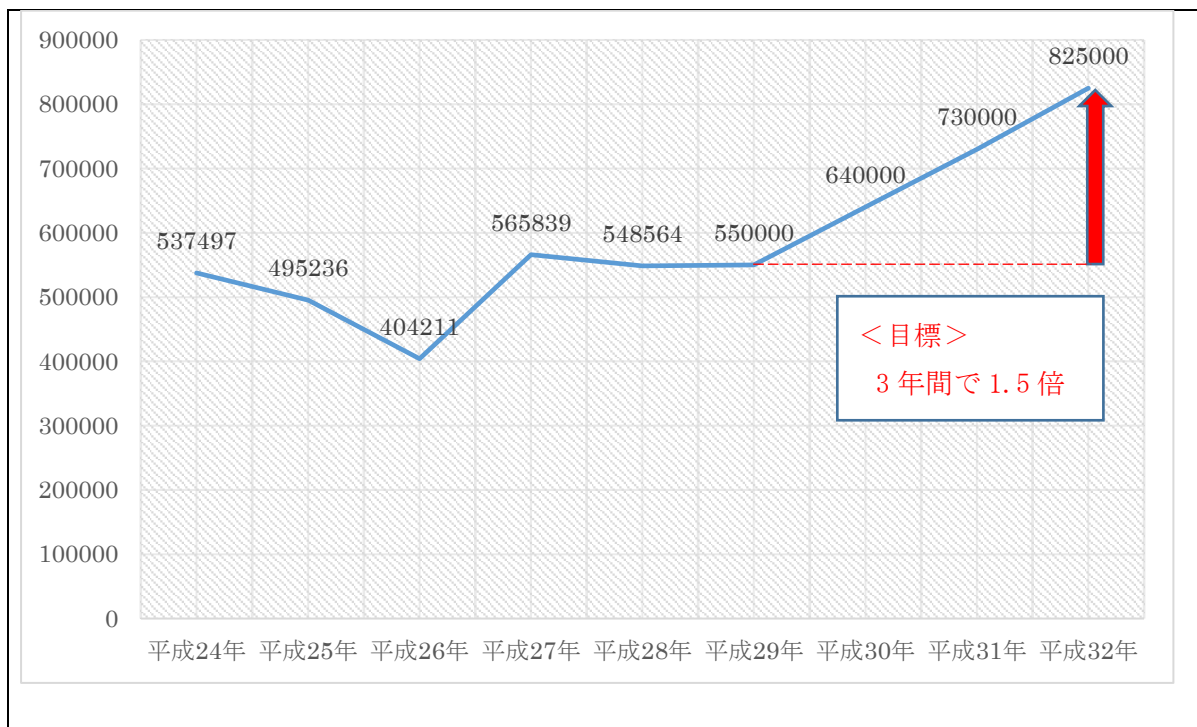
(3) 五葉山・唐丹エリア

伊達と南部の境界のまちとして、独自の文化を体験するエリア

No.	事業名
1	五葉山石楠花荘改修事業 (H)
2	オープン・フィールド・ミュージアム推進事業 (S)

VI 資料編

1 観光客数の推移と目標



2 釜石市観光振興ビジョン策定委員会

区分	所属	職名	氏名
委員長	立教大学 観光学部	教授	東 徹
副委員長	釜石観光物産協会	会長	澤田 政男
委員	岩手県旅館ホテル環境衛生同業組合 釜石支部	会長	及川 佳則
	釜石振興開発株式会社	代表取締役社長	新里 進
	東日本旅客鉄道株式会社 釜石駅	駅長	工藤富士雄
	三陸鉄道株式会社	南運行部長	吉田 哲
	タクシー協会釜石支部	副支部長	平松 篤
	釜石大観音	部長代理	佐々木富也
	釜石駅前商業協同組合	理事長	後藤 英輔
	岩手県食品衛生協会釜石支会	専務	菊池 利教
	岩手県飲食生活衛生同業組合釜石支部	支部長	平松 正浩
	釜石観光ボランティアガイド会	会長	三浦 達夫
	釜石オープン・フィールド・ミュージアム実行委員会	委員長	伊藤 聡
	株式会社 釜石旅行センター	代表取締役	栗谷川 光
株式会社 岩手旅行社	代表取締役	菊池 録郎	

オブザーバ	NPO 法人かまいしリンク		遠藤ゆりえ
	甲子地区活性化協議会		深澤 鮎美
	橋野町振興協議会青年部		伊藤千鶴子
	唐丹町漁業協同組合		水上 梓
	釜石・大槌郷土料理研究会		柏崎 未来
	一般社団法人アットマークリアス		常陸奈緒子
	岩手移住計画		手塚さや香
	株式会社パソナ東北創生		石倉佳那子
	一般社団法人ユナイテッドグリーン		永倉 奏子
	釜石市オープンシティ推進室		エミリー・ハラムズ アリソン・ハリー

3 検討経過

年 月	エリア部会	策定委員会	観光審議会 他	
27 年 度	4月		第1回観光審議会	
28 年 度	9月	第1回 エリア部会 鵜住居・片岸・箱崎/ 西部・甲子 (9/12) 東部・平田/唐丹/栗橋 (9/13)	第1回観光振興ビジョ ン策定委員会 (9/29)	
	10月	第2回 エリア部会 西部・甲子/唐丹 (10/24) 東部・平田/栗橋 鵜住居・片岸・箱崎 (10/25)	第1回観光審議会 (10/21)	
	12月	第3回 エリア部会 甲子川流域/鵜住居川流域 五葉山・唐丹 (12/19)		
	1月	第3回 エリア部会追加開催 甲子川流域 (1/11)	第2回観光振興ビジョ ン策定委員会 (1/19)	
	2月	第4回 エリア部会 全地域合同 (2/9)	第3回観光振興ビジョ ン策定委員会 (2/27)	
	3月			第2回観光審議会 (3/16)
	平成 29	6月		第1回観光審議会 (6/29)

年 度	7月			第1回釜石DMO設立 検討委員会 (7/4)
				第1回OFM実行委員 会 (7/4)
	8月			第1回旅館ホテル組合 意見交換会 (8/8)
	10月		第1回観光振興ビジョ ン策定委員会 (10/28)	
	11月		第2回観光振興ビジョ ン策定委員会 (11/25)	第2回旅館ホテル組合 意見交換会 (11/14)
				第2回釜石DMO設立 検討委員会 (11/27)
12月			第2回観光審議会 (12/1)	市議会復興特別委員会 (12/21)
1月				決定・公表